

平成21年度 指定管理施設の管理運営評価表
 担当室 高齢・障害支援室

1 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市老人福祉センター「ふれあい」
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	社会福祉法人 名張市社会福祉協議会 名張市丸之内 79番地
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	平成21年度 年間延べ利用者数 20,583人 開館日数 299日
(4) 市支出額	指定管理料 21,300,000 円
(5) 管理運営の状況	管理施設の管理運営に関する業務 生きがい活動、趣味活動、日常訓練及び入浴等に関する業務 福祉バスの運行管理に関する業務 管理施設の設備及び備品の管理に関する業務 保健及び福祉等の関係機関との連携

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
平等利用の確保、利用者サービス向上の取組	<p>(1) 利用者の平等な利用の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター内にあるカラオケ機器やヘルストロン等といった備品設備の利用が円滑に利用できるようにするためのルールの設定と徹底を行いました。 ・当センターの利用をきっかけにグループ化された自主サークルや同好会の活動の活性化のため、利用日程の調整や活動場所の調整を行いました。
	<p>(2) 障害者・高齢者等への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シルバーカー、歩行器・車いす等の設置をしています。 ・福祉バス乗降時の転倒予防のため、ステップ出し・声かけ・介助等を行っています。 ・体調不良を訴える方(又は体調の悪そうな方)や元気がない方に対してバイタルチェックや相談を行い、本人同意のもと家族や専門機関への連絡調整を行いました。 ・事故等を未然に防ぐために、浴場を主体に施設内の見回りをチェック表をもとに30分ごとに実施しました。
	<p>(3) サービス向上策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8:30～16:30の開館時間内に各利用者の方が自由にセンター利用できることが一つの特徴であり、平成20年7月からはじまった利用料徴収に併せて、受付をセンター中心部に配置し、職員を常駐させました。また受付場所に血圧測定器を置き、血圧測定を通して気軽に相談できるように配慮しました。 ・平成20年7月より利用料金の徴収が必要となりましたが、利用者の方が可能な限り、現金を持ち歩くことを少なくするために回数券をカード化した「ふれあいカード」と同日のみ利用可能な「利用券」を発行することで、利用料金徴収の簡素化と再入場の確認作業の簡素化を図りました。 ・センター利用の多くの方が活用される福祉バスの発着時の対応として、バス乗降時の段差に対応するため、段差解消のステップを活用し、職員が乗降時に見守りや必要に応じて介助を実施しました。 また、帰宅時のバスについては事前にアナウンスを入れることはもちろんのこと、乗り遅れてしまう方がないように、施設内の確認と声かけを実施しました。
	<p>(1) 啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会広報誌「ほほえみ」やホームページにより、当センターの事業案内や各種講座教室の案内を掲載しました。 ・一般高齢者対象の介護予防事業の教室等の案内を地区民生委員児童委員協議会の定例会議等でチラシを配布するなどの啓発を行いました。
	<p>(2) 生きがい活動支援通所事業</p>
	<p>生活相談</p> <p>受付等にて、随時利用者のくらしの不安等の相談に応じました。</p>
	<p>ふれあい交番</p> <p>月1回警察官による地域防犯や交通安全に関する講話を実施しました。</p>
	<p>「風呂の日」</p> <p>柚湯や各種の入浴剤等で、ふだんとは違う「変わり湯」を実施しました。</p>
<p>映画会</p> <p>月1回(月～土)映画の上映を行いました。</p>	

施設効用の最大限発揮（利用促進、利用者増など）に向けた取組	料理教室	お正月をテーマに「かわりおせち」料理教室を実施しました。
	ビリヤード大会	利用者の発表と交流の場を提供し、人との関わりや日常とは違うよい緊張感を体感していただくことで、楽しみや生きがいにつながるよう各種発表会を開催しました。開催にあたっては、利用者の方やボランティアの協力により、実行委員会を組織化しての開催など主体的な行事として実施しました。
	カラオケ大会	
	芸能発表会	
	<p>（３）各種自主サークル活動への支援</p> <p>センターが実施した講座等をきっかけにしたものや、ボランティアの方が主体的にかかわりながら発生した各種のサークル活動を支援しました。</p> <p><サークル> カラオケ教室、ふれあいハーモニー（コーラス）、いきいき書道クラブ（漢字）、いきいき書道クラブ（かな）、茶道教室、ながつきの友（茶道）、ビリヤード教室、ヨガ教室</p> <p>サークルの中には、ボランティアとして他の福祉施設への訪問活動を実施しているものもあります。</p>	
施設の適切な維持管理及び経費節減への取組	<p>当施設設置機器の特性、構造を把握し、適切な点検を行いました。また老朽化の見られる施設・設備の管理状況について、随時報告と提案を行いました。故障の際には修繕履歴等を踏まえ、速やかに利用者、業者、市などに対し適切な処置を講じました。経費の多くを占める水道光熱費については、夏季使用電力の抑制（デマンド監視）を継続して行い、館内職員に対して随時具体的なエネルギー節減の方法などの啓発を行いました。</p> <p>浴槽水質検査及び循環式浴槽パイプ洗浄やボイラーの水質管理など、衛生管理上必要な点検を実施し、外部委託に関しては、委託業者と詳細な協議を行い、経費削減に努めました。</p> <p>また、職員により施設内の巡回を行い防犯や事故予防に努め、警察官の巡回・講話を依頼して安心・安全な運営に取り組みました。</p>	
施設管理を的確に行う人員配置・職員研修等への取組	<p>高齢者や障害者が利用される社会福祉施設であることから、日常業務における運營業務責任者として保健師を配置し、介護予防を主体的に行う看護師、施設管理や相談援助を行うヘルパー2級資格を保持する介護員の計4名を配属しました。</p> <p>保健師・看護師については「介護予防運動指導員」の資格も併せ持ち、介護予防プログラムの作成や指導にあたりました。また、介護員の1名についても「介護予防運動指導員」の資格取得をさせました。</p>	

指定管理者選定時の提案(自主事業・独自事業)については、上記の該当する欄に実施状況等を記載してください。

3 施設設置者（名張市）評価

指定管理初年度(平成21年度～25年度)であり、協定に基づく業務は適正に実施された。
平成21年7月より、一人1日200円の利用料を徴収し、その分指定管理料を減額した。
自主事業を充実させ、より一層のサービス向上に努めていただきたい。

名張市老人福祉センター「ふれあい」の管理に関する業務の収支決算書（21年度）

（単位：円）

区分	項目	計画額	決算額	内訳等
収 入	利用料金収入	4,000,000	4,027,600	施設利用料 4,027,600
	参加費収入	846,000	782,098	カラオケ利用料 754,998 サロンの紹介、料理教室 27,100
	指定管理料収入	21,300,000	21,300,000	
	市委託料収入	13,267,000	0	介護予防委託料(別途報告)
	雑収入	0	42,040	公衆電話 10,040 実習受入謝礼 32,000
	収入合計(A)	39,413,000	26,151,738	
支 出	人件費	11,840,000	3,220,987	賃金 2,816,840 法定福利費 404,147
	事務費	1,376,000	403,864	福利厚生費 9,056 損害保険料 5,535 租税公課 359,085 通信運搬費 30,188
	事業費	18,163,000	12,924,718	賃借料 512,188 通信(NHK・ケーブル) 30,337 消耗品 234,983 ハス運行委託 12,022,758 医薬品費 4,400 教養娯楽費 107,452 諸謝金 12,600
	管理費	8,034,000	6,787,272	ハスロンの保守料 53,025 水道光熱費 5,160,107 風呂水質検査等 480,900 修繕費 56,641 清掃委託料 1,036,599
	事務経費	0	0	
	人件費積立金	0	2,000,000	
	支出合計(B)	39,413,000	25,336,841	
収支 (A)-(B)		0	814,897	